

小児特発性間質性肺炎 症例登録システム終了

～ 小児特発性間質性肺炎 症例相談アドレスへの変更のお知らせ

2010年3月に開始しました小児特発性間質性肺炎登録システムは、2020年3月までの10年間に34症例の登録をいただきました。そしてその成果を、日本小児呼吸器学会雑誌33巻1号（2022年6月刊行）に掲載することができましたのでご報告いたします。今回報告することができましたことは、ひとえに小児特発性間質性肺炎の診療に当たられた医療者の皆様、また登録を許可していただきました患者様、患者ご家族様のご協力があったからこそと感謝申し上げます。

さて、10年以上続けてきた本登録システムですが、今回の報告をもって一旦終了といたします。今後は、本疾患の病態の解明、診断・治療ガイドの作成などに貢献できるような、時代に沿った新しい登録（症例追跡）システム構築を検討していきたいと考えています。

なお、登録システムは終了いたしますが、間質性肺炎（間質性肺疾患）の症例相談は継続いたします。登録システムの連絡先として使用してきたメールアドレス（jspp.iip2010@gmail.com）まで、ご連絡ください。

このアドレスへの相談につきましては、間質性肺炎（間質性肺疾患）に関連するもののみとさせていただきます。それ以外の疾患・病態の相談につきましては本学会の症例相談室（<http://jspp1969.umin.jp/member/consultation.pdf>）をご参照ください）までお願いします。なお、症例相談室は学会員のみが利用できるサービスであることをご理解ください。

以上、登録システム終了のご報告とさせていただきます。10年以上の長きにわたりご協力いただきありがとうございました。

2022年（令和4年）6月

日本小児呼吸器学会理事長

高瀬真人（東京通信病院小児科）

日本小児呼吸器学会薬事委員長

岡田邦之（おかだこどもの森クリニック）

同 委員

肥沼悟郎（国立成育医療研究センター呼吸器科）